

# MATH やらまいかジャーナル



A Journal of MATH yaramaika

令和5年度（2023年度）12月 開催

## 「MATH やらまいか第11回決勝大会」

### 活動レポート



トップガン教育システム協議会が主催する「MATH やらまいか第11回決勝大会」は、令和5年12月9日(土) 13時00分～の日程で、浜松科学館みらい～ら1階ホールにて開催されました。

「MATH やらまいか」とは、トップガン教育システム協議会事業のひとつであり、小学1年生から6年生の児童が「算数」のゲームを通してよく見る力・よく聞く力・よく考える力(着眼・推理・分析・思考力)を養いながら、速さと思考力を競う大会です。

算数や数学の面白さ・重要さは「考えること」にあります。小学校で通常行われている授業やテストでは、思考の過程に関わらず、答えが合っていなければ「算数が出来ない」ということになってしまいます。「MATH やらまいか」では、ゲームを通して「問題についてとことん考える」機会を与えることによって、算数の本当の面白さを児童に伝えることを目的としています。

また、大会を通して発掘された優れた算数・数学の才能を持つ児童に対しては、優れた才能をさらに伸ばし、将来的に数学オリンピックに挑戦すること等を視野に入れた、長期的な指導も行っております。

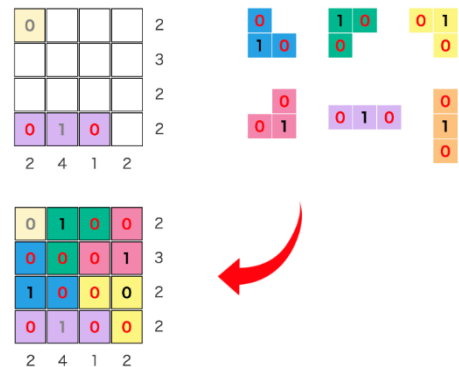
なお、本年度からは新型コロナウイルスの社会的状況による人数制限を撤廃し、どなたでも競技を観覧できるよう、大会運営行いました。

### ○予選大会について○

後援いただいている地域の全小学校へチラシを配布し第11回大会を周知しました。予選大会には全499名の参加があり、周知した以外にも静岡県、兵庫県、大阪府、ベトナム（ハノイ）の各地域・各国からの参加が見られました。

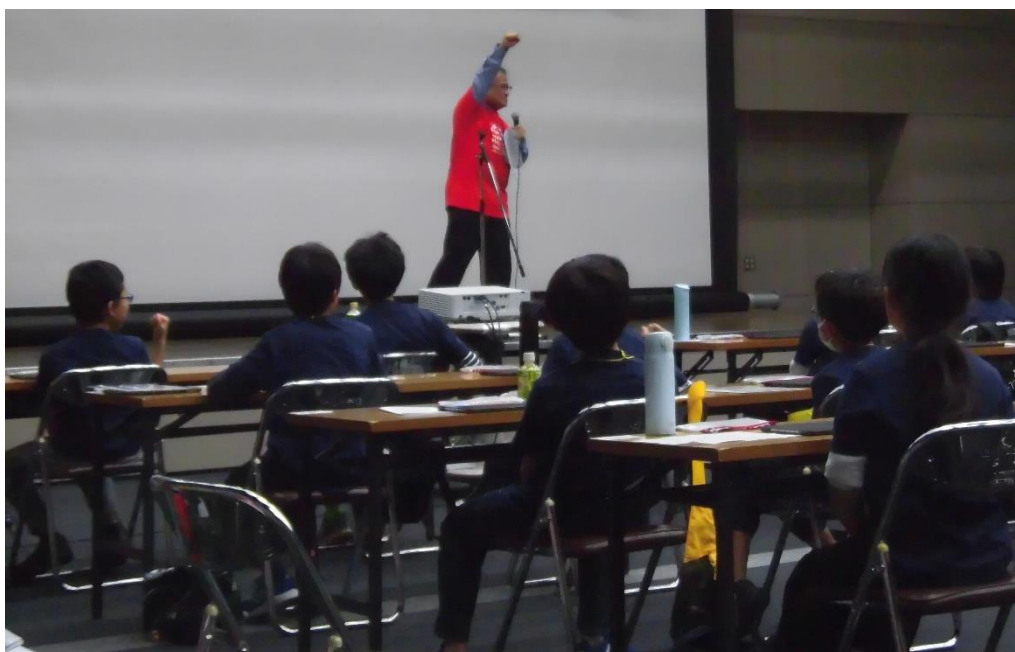
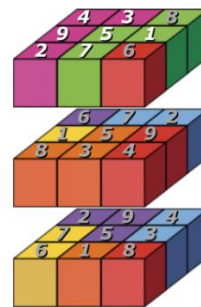
予選大会では「トロミノ-01」という題で、3つのブロックからなるトロミノを計算が合うように4×4のマスの埋めるゲームを行いました。最高得点は7,510点。予選期間を経過した現在もホームページ

(<https://math-yaramaika.com/>) 上にて予選問題を公開しており、いつでも・誰でも挑戦可能です。



○決勝大会について○

決勝大会への出場者 30 名の地域の内訳は浜松市 26 名、磐田市 2 名、森町 1 名、ベトナム 1 名。決勝問題は予選問題を 3 次元化したもので、数字のついた立体のブロックを組み合わせることで、3 層の 3×3 魔方陣を持つソーマキューブを完成させる問題です。



開会式にて：トップガン教育システム協議会 会長 木村雅和先生より恒例の激励挨拶

当日は、市長による主賓祝辞に続いて、浜松市長が名誉団長を務めます「ジュニアオーケストラ浜松」から弦楽奏者 4 名にお越しいただき、「0. レスピーギ作曲『シチリアーノ』ヴァイオリン二重奏」、「V. モンティ作曲『チャルダッシュ』ヴァイオリン二重奏」の 2 曲を演奏いただきました。



浜松市 中野祐介 市長による主賓祝辞



ジュニアオーケストラ浜松による演奏

音楽演奏が終わると、いよいよ決勝問題に取り組みます。問題は全部で12問。難しい問題を、ヒントを使わずに、早く解くことができれば高得点となります。参加者の皆さんはタブレット端末に向かって、1時間、競技に取り組むこととなります。会場では、全員の得点と順位がリアルタイムで映し出され、後ろで見守る保護者の皆さんもドキドキしながら応援します。



懸命に競技に取り組む児童：配布されたソーマキューブをヒントに使いながら。



大人も一緒に頭を抱えて、懸命に競技に取り組みます。



## ○大会の結果○

第11回大会、第3位は浜松市立広沢小学校5年 益子光也さん（写真右）、第2位は浜松市立佐藤小学校5年 小嶋零音さん（写真中央）、そして優勝は、ハノイ日本人学校6年 伊藤愛月さん（写真左）です。入賞者には、木村雅和先生から、メダルと表彰状が授与されました。皆さん、本当におめでとうございます。



第11回 MATH やらまいか決勝大会 栄えある入賞者の記念撮影

### 静岡大学 塩尻先生のお話

皆さん本当にお疲れ様でした。また、今日表彰された方々、本当におめでとうございます。私も皆さんと同じ問題を解きましたが、予想通り、問題の3問目と4問目の辺りでうろろうしておりました。点数は170点。惨敗です。そういう意味では、私には皆さんが天才のように見えております。ただ、私自身の感想としましては、若干疲れたところもあるんですが、皆さんのこの成績を聞いて大変嬉しい気持ちですし、頭の活性化ができたので良かったなと思っております。



私の話をさせていただきますと、私は算数は苦手ではなかったのですが、中学・高校で数学が苦手になって、大学では数学から逃げるように、生物の勉強をすることにしました。でも生物の勉強には算数や数学が関係ないかということ、実はそんなことはありません。私は、生物の目や、手や足がどのようにできるかということの研究していますが、数学なし

にはいろいろなことの説明ができません。例えば皆さんは、シマウマって知っていますよね。シマウマには複雑な模様がありますが、ああいうものも数学で説明ができます。

このように、生物だけでなく、身の回りの世界に、算数・数学で説明できることはたくさんあります。皆さんが算数・数学の世界で、今の力をさらに伸ばして、もっと違う、もっと広い世界で、皆さんの力で、世界がもっともっと良くなってくれればと思っております。だからぜひ、今の力をさらに伸ばしていただけたらと思います。

今日は多分皆さんお疲れでしょうから、ちょっと休んでから、また改めて算数・数学の力を伸ばしてくれたらと思います。今日は本当にお疲れさまでした。今後も頑張ってください。

静岡大学 理事・副学長 塩尻 信義先生

### 総評

今日は皆さん、1時間本当に集中して最後までよく頑張りましたね。すごい、すごいと思いました。今日の問題は難しかったですか？楽しかった？みんな楽しかった？(……) そうだね。60分って、前で待っていると長いなと思ったけど、みんなあっという間だったのかな。

みんな多分数学とか算数とか大好きなんだと思います。だからこういう問題を、これからも楽しみながらどんどん解いていくといいなと思います。

今日の問題なんだけど、多分ちょっと難しかったのかな。最初、問題の解き方を理解するだけでも難しかったんじゃないかと思います。それをみんなは短時間で理解して、どうやったら早く解けるかなってことも考えて、1番になった子は、攻略法なんかも編み出していたのかもしれないね。

今日は大会なので、どうしてもたくさん解けた子が1位、2位、3位になって、中にはあんまり問題解けなかったという子もいると思います。でも大丈夫です。時間を掛ければみんな解けるはずですよ。楽しみながらやっていけば、どんどん力がついてくると思います。

今日決勝大会に来てるみんなは、予選の結果を見ると、みんなすごい点数ですよ。だからみんな自信を持ってください。今日あんまりできなかった子も、あまりがっかりしないで、みんな自信を持って帰ってください。算数っていうのは、当然、数学の勉強にも使えますが、理科にも使えるし、経済だとか、いろいろな分野にも使えます。算数の力を伸ばすことは、将来非常に役に立つと思います。だからみんな、楽しみながら、これからも算数の勉強を頑張ってください。

保護者の皆様も、今日はお疲れ様でした。今日はみんな、1時間一生懸命問題に取り組んで、頭も疲れていると思います。お家に帰ったら、ぜひ、褒めてあげてください。そして、ここに来たみんなは算数の力・才能を持っていると思いますので、ぜひそれを伸ばしていただければありがたいなと思います。



それでは簡単ではありますが、以上で総評とさせていただきます。

光産業創成大学院大学 教授 石井 勝弘先生

### 優勝した伊藤さん 感想

ぼくは、1年生の時から、MATH やらまいかに挑戦しました。その時の「数字の宝石箱」という問題は当時の僕には難しく、1問も解くことができませんでした。2年生の時も難しく分かりませんでした。3年生の時から今年の決勝大会まで毎回予選を突破することが出来ました。去年は海外にいたため決勝大会に出ることはできませんでしたが、今年は最後ということもあり帰国することに決めました。そして迎えた最後の決勝大会当日。すごく緊張しながらも、どんな問題が出題されるんだろうと少し楽しい気持ちで用意された席に座りました。決勝大会の制限時間1時間は、長いようでとても短かったです。決勝が終わった後、まさか優勝できるとは思っていなかったのに、1位と分かった時にはとてもびっくりしました。すごく嬉しかったです。MATH やらまいかは、たくさんの小学生と一緒にパズルで競い合えてすごく楽しいです。もっとたくさんの小学生が挑戦して、少しでも算数に親んでもらえたらうれしいです。

ハノイ日本人学校6年 伊藤 愛月さん